

湖西市
地域おこし
協力隊

湖西市地域おこし協力隊

月刊

sato

Kosai Shizuoka

Take Free

Jan. 2025
vol.13

いさごや-いちごの生クリームどら焼き



r cafe-ストロベリーレアチーズケーキ(ジェラート)



大倉戸観光農園

湖西市内

いちごMAPを持って、湖西巡り！

いちごポイントラリー開催中！1月13日-3月16日

冬から春にかけて旬を迎えるいちご。湖西市のいちごは、浜名湖周辺の自然と温暖な気候に育まれた、甘く香り高い逸品。地元農家のこだわりと丁寧な手仕事で、一粒ひと粒に美味しさがギュッと詰まった高品質ないちごが生まれています。湖西・新居観光協会では、そんな湖西産いちごを楽しめる『いちごMAP』を制作！農家の直売所や、いちごスイーツが味わえるカフェなど、いちご好きにはたまらない情報が盛りだくさん！さらに今年は、さらにパワーアップ！いちごMAP掲載のカフェや農家に加え、観光スポット10か所を巡る『いちごポイントラリー』を開催！スタンプを集めて豪華景品をゲットしよう！『いちごMAP』を片手に、湖西のいちごを満喫しませんか？



和食 つく味-ブリ丸と野菜の和風出し鍋掛け



とんとん-ブリ丸のトウチ炒め



湖西市新居町 - 和食つく味 / とんとん

ブリ丸使用店舗ご紹介！

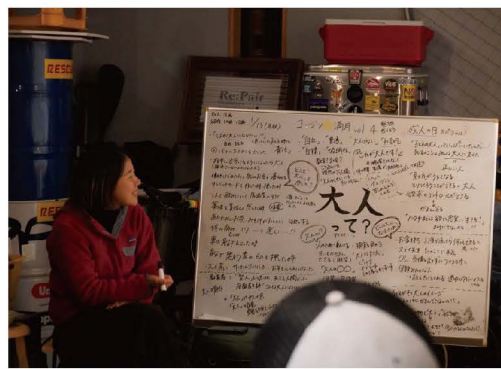
新居町の誇るブランド牡蠣『ブリ丸』をご存じですか？この牡蠣は、新居町の漁師たちが約1年半もの時間をかけて丁寧に育て上げた特別な逸品です。牡蠣の成長に最適な環境を求め、養殖場所を移動させ細やかに管理することで、大粒で身が厚く、旨みがぎゅっと詰まった高品質な牡蠣に仕上がります。さらに、その生産量は全国の牡蠣生産量のわずか0.2%！その希少性からも、『ブリ丸』はまさに特別な冬の味覚といえます。そんな『ブリ丸』を味わえるお店が、新居町を中心に湖西市内に点在しています。お店ごとにさまざまな調理法で楽しめるので、ぜひ食べ比べてみてください！



湖西運動公園-湖西市吉美830-1

KOSAIリレーマラソン全力疾走！

湖西運動公園で開催されたKOSAIリレーマラソンに、チームほうせん（味楽酒房豊千）の一員として参加してきました！今年はなんと57チームがエントリーし、大盛況！実はこの数日前に誕生日を迎え、27歳の幕開けとなるイベントに。「よし、新たな一年、元気にスタートだ！」と意気込んでトップバッターを担当。ところが気持ちは全力疾走、でも足がついてこない！社会人になってから運動不足が加速し、体力の衰えを痛感…。来年もリベンジ予定なので、次回こそは軽快な走りをお見せできる…はず！



タキヤ金物店

月に1回、集まる口実は「満月」？！

コージツ満月に参加！

『コミュニティのスズメ〜コージツ、満月』は、NPO法人DIGtagが満月の夜に開かれる特別な語らいの場。毎月異なるテーマをもとに自由にトークを繰り広げます。私が参加した1月13日（祝）のテーマは「大人って？」。成人の日にぴったりの問いかけに、「お酒が飲めるようになったら？」「大人買いをしたとき？」と、それぞれの視点から熱い議論が交わされました。「大人だと思っていたのに、ふとした瞬間に子供っぽいと言われることもあるよね」「結局、大人の境界線ってどこなんだろう？」—そんな答えのない問いだからこそ、会話はどんどん深まり、知らない人同士なのに、楽しく語り合う時間が生まれました。毎月テーマが変わるたびに、新しい発見や驚きが待っています。次はどんなテーマと話が飛び出すのか、どんな出会いがあるのか。満月の夜、タキヤ金物店で心が動くひとときを体験してみませんか？



みなさん、お疲れ様でした！

湖西のおすすめスポット / 〓 ただただ、私が好きな湖西市内のスポットを紹介〜ぜひ、行ってみてね〓



-ひとりひとりが輝いて、みんな一緒にHappyに-

ななほう

- 〒431-0431 静岡県湖西市鷺津5001
- 営業時間：10:00-18:00
定休日：月曜・第2火曜日
※ご来店いただける方は一度ご連絡をお願い致します。
- 電話番号：080-6920-8597
- 駐車場：1台

鷺津駅から徒歩0分にある『ななほう』は、「和を日常に、まず自分が楽しむ」をコンセプトに掲げる呉服店です。伝統文化を大切にしながらも、現代のライフスタイルに寄り添う着物の楽しみ方を提案。また、気軽に着物を楽しんでほしいという思いから着付け教室の開催、市内のイベントでは「ななほうキモノショー」と題した着物ショーを実施し、着物の魅力を多くの人に伝えています。さらに『ななほう』では、湖西市出身とされる豊田佐吉翁の歴史に寄り添った着物の在り方、日本産業の礎を築いた地を誇りに思い、ななほう代表刑部さんはこの地で「ひとりひとりが輝いて、みんな一緒にHappyに。」という想いの元、美しい着物が仕上がるまでには多くの人の想いが宿っていることを沢山の方に伝えています。※右記のQR(Instagram)から情報チェック！



月刊 sato 作成者について



佐藤 拓真 / さとう たくま
Takuma Sato

1998/01/17 27才になりました！

新潟県長岡市出身
2022年12月に湖西市に移住
湖西市初の地域おこし協力隊に着任
address: tsato.kosaiyouryokutai@gmail.com
Instagram: @kosai_takuma

